

1 事業の概況

平成 28 年度より、江東区から受託している事業である。いわゆる就労準備性の低い生活保護受給者や生活困窮者に対して、日常生活自立、社会生活自立、就労自立をそれぞれ図る支援を実施する事業である。平成 29 年 12 月末現在、セミナーには延べ 779 人、所内作業には 1,072 人の参加実績があり、何らかの日中活動先を確保した利用終了者は 17 人である。平成 30 年度では、こうした実績を踏まえて、さらなるプログラムメニューと個別支援を充実させていき、利用者それぞれのニーズに応じたオーダーメイドの就労準備支援ができるようにしていく。

2 主要目標と取組

(1) 利用者の特性に合わせた支援プログラムの充実

- ① 利用者の多様なニーズに応じた支援プログラムの実施（所内作業や就労体験等）
- ② 更生施設塩崎荘の機能を活用した支援プログラムの実施（看護師、栄養士、職業相談員等と協同のプログラム）
- ③ 就労訓練事業とも連携して、塩崎荘の業務の切り出しを行い、就労体験メニューを増やす。

(2) 個別支援を充実し、切れ目ない支援を実施する。

- ① 支援計画書に基づいて支援終了後の出口を見据えた支援を実施する。
- ② 個別支援から利用者のニーズを汲み取り、プログラムにも反映していく。
- ③ 関係機関への同行や、安否確認の自宅訪問等のアウトリーチを充実させる。

(3) 関係機関との連携

- ① 江東区との連携をさらに強化する。江東区生活自立支援事業部門とは、より積極的に情報共有化、協働支援等を実施する。
- ② ハローワーク、就労移行支援事業所、こうとう若者・女性しごとセンター、協力企業等との連携強化をする。

(4) 年間の数値目標

	利用定員	延べ支援対象者数	プログラム実施数		
			セミナー実施回数	就労体験	通発行
平成 29 年度実績 (込)	60 人	80 人	400 回	50 回	12 回
平成 30 年度	60 人	70 人	400 回	80 回	12 回

3 管理運営

(1) プログラム等の実施

- ① セミナー等（週 3～4 回）
- ② 所内作業体験（毎平日）
- ③ 所内就労体験（週 4 回）
- ④ 所外就労体験（適時）
- ⑤ 所内農業体験（月 2 回）
- ⑥ 宿泊農業体験（年 2 回）
- ⑦ クリーンデー（週 1 回）
- ⑧ ウォーキング（月 1 回）

(2) 事業運営の効率化

- ① 支援マニュアルの作成
- ② 朝のミーティング等によるスケジュールの共有化

(3) アウトリーチの充実

4 その他

(1) 職員の育成

- ① 多様な心理特性を持つ利用者への対応能力向上を図るための専門分野研修参加
- ② 支援検討会議の定例的開催（必要に応じて福祉事務所内で実施）
- ③ 役割分担による職員の社会資源情報収集と共有化

(2) 情報の発信（就労支援センターパンフレット発行、センター通信の毎月発行）

(3) 地域住民との交流（バザー、ボランティア活動、地域の祭り等）